

自己評価・学校関係者評価表（令和２年度）

岸和田いずみ幼稚園

1、本園の教育目標

心身共に健康な子どもを育てる

- ・ 自分の思いや考えが表現できる子ども
- ・ 友達と仲良く遊べる子ども
- ・ 根気よく頑張る子ども
- ・ 相手を思いやるやさしい子ども

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・ 指導計画が教育要領や教育理念、子どもの実態に即しているかを把握し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高める。
- ・ 社会のニーズを意識し、確認していくことで、幼稚園が今後求められている役割を明確にしておく。

3、評価項目の達成及び取組状況

教育項目	評価	取組状況
園庭における遊具の整備に努める	A	・ 固定遊具の目視等の点検を定期的に行い、修理箇所があれば速やかに業者に連絡をして安全性を高めてきた。 ・ 移動遊具（三輪車等）や大縄等を購入し、園児が体幹を養い、集中して取り組める遊びを増やしてきた。
良好な人間関係が築けるように保育内容を吟味し、工夫していく。	B	・ 自分の気持ちが表現できる場面を保育に取り入れてきた。人前で発表をしたり演じることで、相手の良さにも気づくことができた。 ・ 子どもの興味を生かし、美化の観点より、箒やちりとりや雑巾等の用具の使い方を知らせてきた。子ども達が自主的に友達と協力して掃除をする姿が見られた。 自ら考え、行動できる力が育ってきた。
学校安全計画と危機管理等のマニュアルの整備	A	・ 自然災害をはじめ、防犯や交通安全、生活安全、感染症対策、火災等の学校安全計画と危機管理等のマニュアルの整備に取り組んだ。 ・ 本年はコロナウイルスの感染拡大防止の対応策の実施や工夫に総力で取り組んできた。施設や遊具、バス等への抗菌工事を行った。 ・ 園周辺、来客駐車場、玄関付近に防犯カメラを設置した。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度はコロナウイルスの感染拡大の防止の為に、多くの行事の中止や延期があり、行事の規模の縮小や、内容の見直しを行った。休園中はホームページを利用して、入園式の祝辞や園児の挨拶、園児向けの手遊びや朝の体操等の動画を配信し、保育の計画や予定等も掲載し、保護者や園児達との情報共有に努めてきた。また、再開前には三者面談で、家庭や子どもの様子を聞き取り、園児の状況把握を行った。これらを通して、保育の再開がスムーズに行うことができた。

教職員は、年少児や年中児には園児の人間関係を構築する為の個々の言葉かけをたくさん行い、年長児には相手を認めたり、自分の気持ちを人前で伝える発表の機会を設け、保育内容を工夫してきた。園児たちは相手を思いやる気持ちや、発言力が育ってきた。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
良好な人間関係が築けるように、多様な学年に対して、保育内容を吟味し、工夫していく。	<ul style="list-style-type: none">・相手を思いやりったりほめたりする行動を増やす。・自分の気持ちが表現できるように、教師が間に入り、人間関係を取り持つ。・多様な学年において、自ら考え、行動できる力を育む為に、保育環境を整え、具体的な保育内容を工夫していく。
感染症に対する防止策の整備を行う 感染拡大防止の為に、園児の年齢に応じた工夫を行う	<ul style="list-style-type: none">・ソーシャルディスタンスの確保に努める。分散登降園の実施や行事の開催日を分散して行う・園児や教職員の手洗いの実施や、園内外の消毒や消毒薬の設置等を行い、衛生管理に努める・園児の個々の発達に応じた、手洗いの消毒薬やマスクの使用の仕方を工夫していく
施設内の環境整備としてトイレの改修を行う	<ul style="list-style-type: none">・年中組の保育室がある本館のトイレが古くなってきており、扉の劣化や破損があり、室内の明かりも薄暗い。子ども達が気持ちよくすんでいける、明るく見た目も楽しい空間を提供していく。

6、学校関係者の評価

特に指導すべきことはなく、妥当であると認められる

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。